

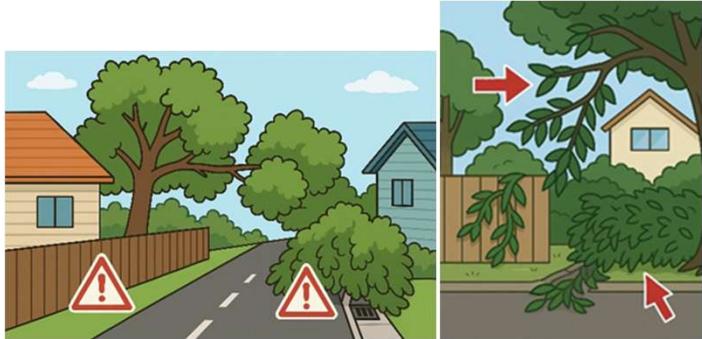
親和会ライフnavi

11月号

【特集】樹木管理は所有者の責任です ～越境枝木・高木・ツル枝…分譲地の安全と美観を守るために、厳正対応します～

私たちの伊豆急伊豆高原分譲地は、定住者と別荘利用者が共に暮らす「二つの暮らしの交差点」です。しかし近年、越境枝木によるトラブルが増加しています。

- ・隣地に越境する枝木
- ・道路にはみ出す枝葉
- ・高く伸び、倒木の恐れがある樹木
- ・側溝を覆い、排水を妨げるツル枝・雑木



これらは景観の悪化だけでなく、通行障害・災害リスク・隣人トラブルの原因にもなります。

⚖ 民法改正と自治会の対応方針 🌱

令和5年の民法改正により、越境枝木の切除権が明文化されました。親和会としては以下のようない方針で対応します。

対象	対応	
隣家からの越境枝木	当事者同士での話し合いをお願いします。	親和会は関与できませんことご了承ください
管理道路への越境枝木	所有者に催告書による伐採を強く要請。	応じない場合は代理伐採し、費用を請求します
高木(倒木・落枝の危険)	同上。ただし緊急性がある場合は、事前催告なしで緊急伐採を行い、費用請求します	
ツル枝・雑木(側溝を塞ぐ)	排水障害の原因となるため、所有者に除去を要請。放置の場合は代理除去し、費用請求します	

これは「ペナルティ」ではなく、「分譲地全体の安全と信頼を守る責任」です。定住会員は「日々の管理の大切さ」、別荘会員には「不在時でも責任がある」ことを十分ご認識ください。

放置は迷惑行為 - 敷地管理はあなたの義務です

- ・ご自身の敷地の樹木を定期的に確認・剪定してください！
- ・側溝周辺のツル枝・雑木を除去し、排水を確保してください！
- ・越境の可能性がある場合は、早めに伐採をお願いします！

ご不明な点は、親和会事務所にご確認ください。



「共に暮らす責任」——最高裁が示した新たな常識

今年7月、最高裁は別荘地の管理費について、住民に納付義務があるとする判決を下しました。公平性と不当利得の回避、そして何よりコミュニティの持続を重視した、画期的な判断です。契約自由の原則を超えて、地域に関わる者の責任が認められました。

伊豆高原親和会は法的には任意団体ですが、この活動は生活の質と安全を支える不可欠なもので、すべて皆さまの会費によって成り立っています。納付率は97%、これは誇るべき数字ですが、未納会員が地域の持続性に影を落とすことも事実です。

最高裁判決は、親和会会費にも深い示唆を与えています。「管理契約をしていないから払わない」「土地のみ所有なので関係ない」ではなく、住み、所有すること自体が責任の始まりです。親和会地域の不動産価値の維持と向上は、皆さまの責任にかかっていることは言うまでもありません。

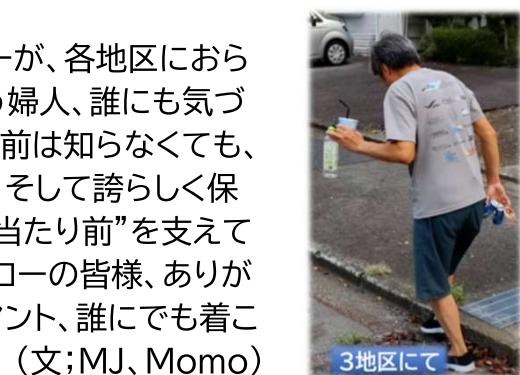
美しい景観は、連帯から生まれる会費の納付は、“この分譲地を共に育てる”という意思の表れです。未納の会員は、この機会にもう一度会費の意味を深く受け止めてください。



きれいな道には 理由(わけ)がある！

記者が犬と散歩する路地は、ごみステーションへの近道でもあるが、誰の土地でもないので、放っておけば草ぼうぼう。でもなぜがいつも草刈りされていて歩きやすいのです。何年にもわたってそうだから、当たり前に思っていたけれど、ある日記者は見た。汗をかきかき、草刈り機で雑草を刈り取っている人の姿を！地域の草取り、枝下ろしをボランティアでやっている第4地区のヒーロー古橋さん。おかげで樹に覆われていた空き地が、大島を眺める絶景ポイントになって道行く人の安らぎの場にかわりました。「いやいや、ついでですから」と誇りもせずに、またほかの場所へ向かう。こらこらだめですよ！ほかの地区から引き抜きに来ないでね。

いやいや、心配はご無用です。親和会には、古橋さんのようなヒーローが、各地区におられます。朝の静けさの中で、路上のペットボトルや空き缶をそっと拾う婦人、誰にも気づかれずにゴミステーションや、荒れた側溝周りを整えて下さる方。名前は知らなくても、顔を覚えていなくても、その手が親和会の街並みを美しく、心地よく、そして誇らしく保って下さっています。定住会員の皆さんの中には、この地の“当たり前”を支えています。だからこそ、わたしたちは声を大にして言いたい。「ヒーローの皆様、ありがとうございます」と。そして、次は私たちの番です。このヒーローのマント、誰にでも着こなせるサイズです。



(文;MJ、Momo)

平凡こそ、贅沢。伊豆高原への移住で得たもの

定年を迎え、伊豆高原に暮らし始めてからというもの、日々の感じ方ががらりと変わりました。特別なイベントより、何気ない一日こそが、これが人生でいちばんの贈り物だったんだと気づいたのです。

朝、窓を開けると、澄み渡る空気がすっと入り込み、庭の木々が、葉の色や風の匂いで季節の移ろいをそっと知らせてくれます。都会の喧騒を離れ、ここでは五感が目覚め、見慣れた風景さえも、詩の一節のように心に響いてくるから不思議です。



若い頃は見過ごしていた「平穏無事」という名の豊かさ。元気な体で朝を迎えゆっくりと珈琲を淹れる。そんな何気ない時間が、人生の最終章を彩る、いちばん洗練された贅沢なのだと、今はしみじみ感じています。

別荘をお持ちの皆さんも、年に数回の滞在だけでなく、この穏やかさを「日常」として味わってみませんか？「第二の人生」の選択とは、住まいを変えること以上に、時間の質を変えること。伊豆高原がくれる極上の静けさを、ぜひ選択肢のひとつとして心に留めておいてください。ここには、心が満ちる時間があります。（風見鶏）

5月30日、伊豆高原駅から5分、静岡銀行斜め前に「Bakery Café merci」がオープンしました。幼い頃から毎年訪れていた伊豆高原の自然と温かい雰囲気に惹かれ、この地に開店を決意されました。

店にはフランスの伝統を大切にしながら日本のエッセンスを取り入れた様々なパンが並びます。看板商品はサクッと軽やかなクロワッサン。

焼きたての香りに包まれたイートインコーナーも用意されています。移住者や地域の人が集う、新しい憩いの場としてこれから注目のお店。

店主は、「パンが恋しくなった時は、ぜひ気軽に立ち寄ってほしい」と話します。父から学ぶ技と新しい感性で独自の味を探求する姿が印象的でした。

週末の楽しみにぜひ訪れてみてはいかがでしょうか？
(文:銀のしっぽ)

伊豆高原に待望の新星！



Bakery Café merci

【場所】
伊豆高原駅 静岡銀行斜め前

【営業】
木 金 土 曜日
10:00～売れ切れ次第閉店



スクリーンの向こうに、親和会？

「あれ？この風景、見覚えがある…」
そんな瞬間、テレビの前で思わず声が出たこと、ありませんか？断崖絶壁に立つ主人公、緑に包まれた山を駆け抜けるヒーロー、そして見覚えのある駅舎。実はそれ、親和会エリアから“徒歩圏内”。

伊豆高原・城ヶ崎・一碧湖・大室山、どうやら映像業界では“名脇役”として引っ張りだこのようです。映画『伊豆の踊子』は言わずもがな、火曜サスペンス劇場の「犯人が追い詰められる崖」、仮面ライダーが変身する草原、バス旅の立ち寄り先、電動バイクがスイカヘルメットで走る道… 数え始めるとキリがありません。“真夏の恋と海のきらめき”を描いたドラマや、水中捜査チームが活躍するアクションもの、“男子

高校生の春”や“おっさんたちのラブ”まで、伊豆の風景がしっかりと登場。

「えっ、あれって？」と驚いた方、正解です。

「今日がダメでも、明日はきっと」—そんな言葉に背中を押された月9ドラマでは、伊豆急の車内が何度も映り、視聴者の涙腺を刺激しました。

ここだけの話ですが、親和会ライフの記者がエキストラで出演してようですよ…(本人は「セリフがあれば台本もらえたのに」と悔しがっていました)。

別荘をお持ちの貴方も、次の滞在ではぜひ“聖地巡礼”気分で口ヶ地を歩いてみてください。スクリーンの中の風景が、あなたの別荘ライフにそっと重なるかもしれません。
(風見鶏)

四季旬菜 日本料理『虹-kou』訪問記

かつて鎌倉の風雅な街並みに佇んでいた日本料理店が、2024年1月、伊豆高原へと舞台を移しました。ご夫婦二人で営まれているお店は、昼・夜それぞれ二組限定。まるで招かれた客人のような特別な時間。広報記者はそんな贅沢な昼のひとときを味わうべく、お昼の予約を入れ訪れました。



扉を開けると、そこには“余白の美”を大切にしたシンプルな空間が。無駄を削ぎ落した設えの中に、大きな窓。四季折々の緑が広がり、秋には紅葉がまるで屏風絵のように目の前に舞い降ります。伊豆の海と山から届く旬の食材が、ひと皿ごとに心と舌をゆっくりと満たしてくれます。料理が運ばれてくるたびにワクワクと胸が高鳴り、次の一皿への期待が、時間をより豊かにしてくれます。心までもみたされていく感覚は、まさに“食の詩”と呼ぶにふさわしいものでした。この店に漂う詩情の源は、店主の美意識にあるようです。

画家であり詩人でもあった落谷虹児氏の血を受け継ぐオーナーは、祖父の下絵や原画を店内に飾り、空間そのものをひとつの詩として仕立てています。伊豆高原の自然と響き合い、訪れる人の五感すべてを優しく揺らしてくれるようです。日常を忘れ、静かで美しい時間で満たされてみてはいかがでしょうか。
(文:CoCo)

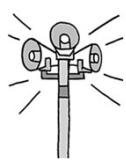


日本料理『虹-kou』
(伊豆高原 28次3番)

総合 防災訓練を実施します

親和会連合自主防災会

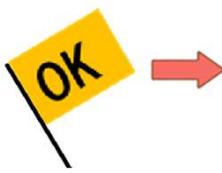
11月16日(日) 午前9:00~



9:00
訓練放送



家庭内訓練



9:15
OK旗掲出

別荘に滞在中の会員も、どうぞご参加ください。
一緒に地域の安心を育てましょう。



班長さんが安否確認
をする場合があります



10:50 親和会事務所前
にて各種訓練を実施

今年度のミニバス実証運行予定について (伊豆高原エリアまちづくり協議会より)

10月現在、国土交通省に、伊豆高原・城ヶ崎地区を含め伊東市内4地区での実証運行を申請中。申請内容に修正が無ければ、下記の内容で実施予定です。本格運用への移行のために、皆様のご利用をお願いいたします。

☆ 運行予定期間: 11月中旬~2月下旬
(途中から有償運行実験)

☆ 1日の運行便数: 6往復 (昨年より2往復増)

☆ 利用対象エリア: 親和会のほぼ全域
バス停や城ヶ崎駅に近い方は除外されますが、昨年より除外範囲が狭くなる予定です。

注)国交省承認後、利用者向けチラシを配布予定

親和会主催 フリマーケット “断捨離 - 引継ぎ”

災害支援募金フリマ 伊東市後援

会員の断捨離促進で災害支援募金活動を伊豆高原親和会主催で第2回フリマーケットが伊東市後援で開催されます。出店希望を募集しています。この機会に個人や友人と参加出店をお考え下さい。

親和会コミュニティ店で、委託販売募金も計画中。出品は乗用車1台分以内。会場は池生涯学習センター駐車場で昨年の出店は11軒、来場者は約150名。会員が断捨離に取組み、災害支援として品物を出店しその売上からの募金を赤十字社経由で送金されます。昨年の净財は5万円を超えるました。参加ください。(イベント部会)

- 開催日: 12月5日(金)~6日(土)
- 開店時間: 午前10時から午後3時 (6日は午後2時過ぎまで)
- 場所: 池生涯学習センター 駐車場

申込先: 親和会事務所 0557-53-1122
e-Mail: shinwakai.events@gmail.com

地区連絡会の開催案内

あなたの意見が親和会をより良くする第一歩です、別荘会員の方も是非ご参加ください。(1時間半程度の予定)

第1地区 11月12日(水) 10:00~
八幡野コミセン3F大会議室

第3地区 11月8日(土) 10:00~
城ヶ崎老人憩いの家

第2地区 11月15日(土) 13:30~
八幡野コミセン2F中会議室

第4地区 11月22日(土) 14:00~
城ヶ崎老人憩いの家

11月のゴミ出し日

可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	吉紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル	可燃ゴミ	ビン	カン	金属類	吉紙 段ボール	われもの 乾電池	ペットボトル
月・水 金・日		6(木)	6(木)			4(火)	月・水 金・日	4(木)	4(木)			4(木)	2(火)
	13(木)	13(木)		11(火)	13(木)				11(木)		9(火)		9(火)
	20(木)					18(火)		18(木)	18(木)				16(火)
	27(木)	27(木)	27(木)	25(火)		25(火)		25(木)	25(木)	25(木)	23(火)		23(火)